

令和4年10月25日発行

- 第24号 -

とも たの 偕に楽しむ

偕楽園公園の魅力向上・発信のために

会長 三ッ石 敏

皆様、お元気でお過ごしでしょうか？ この度、広報・研修委員会の皆さんのお蔭で、会報「偕に楽しむ」第24号を届けることが出来ました。

私は、本年4月19日の総会にて前湊正雄会長（現顧問）を引き継いで第3代会長に就任致しました。これまでの諸先輩方の様々な思いを胸に、偕楽園公園の魅力向上および発信のため尽力してまいりますので、改めて皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、本年もコロナ禍の中、十分対策を行い、春のウォーキング、それから毎月の「弘道館 やさしい論語塾」「花パートナー活動」「朝活ヨガとポスチャーウォーキング」は予定通り実施しております。花パートナーは月2回の活動となり、草取り、水やりなど行って、偕楽園公園を通る人々の目を楽しませています。

7月26日には県・市との懇談会を実施しました。新しい会員も参加して有意義な時間を送ることができました。その中で、外国人との交流、若い世代との交流など課題も見えてきました。

本年後半も、紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集い、研修会、楽習会と続きます。紅葉狩りウォーキング&偕に楽しむ集いは会員以外にも参加を促して、偕楽園公園の魅力発信の機会にしたいと思っています。また、大名庭園民間交流会は11月に代表者会議を開催して、今後の対応を話し合う予定にしております。

最後になりましたが、今後とも皆様のご健勝とご多幸をお祈りしております。



朝活で広がる！偕楽園を愛する気持ちと仲間の輪

昇る朝日を浴びながら、窈窕広場で“おはようございます”と挨拶を交わす月に一度の習慣。この秋に5年目に突入し、毎回20名以上の参加者がおり、活動が定着してきたことを実感しております。移ろう季節を全身で感じながらのポスチャーウォーキングとヨガは身心の健康保持に一役買い、偕楽園の魅力は大いに発信し、楽しむ仲間の輪を広げています。



新会長に託された「偕楽園の心」

総会開催される

今年度の定期総会は、4月19日に昨年に引き続き県立歴史館講堂で開催されました。コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いている中でしたが、防止策を取りながら開催いたしました。座席は間隔を取りながらも、71名の会員、来賓10名の参加者があり、全員にマスク着用、検温、手指消毒を徹底し、入場していただきました。林和男副会長の司会で定刻に始まった総会は、湊正雄会長のご挨拶、来賓の高橋靖市長には世界遺産登録に向けた取り組みを含んだご挨拶をいただいた後、湊会長が議長となり議事に入りました。

第1号議案令和3年度事業報告、第2号議案令和3年度決算報告に続き役員改選の時期に当たる今年度は第3号議案として役員改選の件が提案され承認されました。その後、新会長となった三ツ石敏会長が議長とな



総会で挨拶する三ツ石新会長

って令和4年度事業計画及び令和4年度予算案が審議されいずれも、滞りなく承認され議事は終了しました。

引き続き講演会が茨城県都市整備課係長大山英輔氏を講師に「偕楽園景観ガイドラインについて」の演題で行われました。本会も偕楽園の景観について提言を行ってきましたが、現在、県がどのように景観を捉えどのように維持管理していこうとしているのかその全体像を説明して頂きました。質疑応答に移り聴衆の皆さんからはたくさんの質問や意見が出され関心の高さを示しました。

事務局長 後藤克己

「偕楽園好文亭襖絵—過去から現在、そして未来へ—」に参加して

令和4年9月11日(日)茨城県立歴史館講堂において、茨城県(県水戸土木事務所偕楽園公園課主管)主催のシンポジウムが開催されました。始めに、小塚のり子弘道館主任研究員より、昭和20年8月2日の空襲で好文亭が全焼し、96枚の襖に描かれた絵は全て灰燼に帰したことについて説明がありました。荒井経藝大教授からは、襖絵の復元を担当した須田瑛中(藝大教官)画伯ならびに、同画伯の急逝後は藝大の田中青坪教授の手掛けた襖絵の作風や技法の違いについての解説があり、たいへん興味深い内容でした。

好文亭は昭和33年2月に復元しましたが、昭和44年9月に落雷により、奥御殿は消失してしまいます。幸い襖絵の大半は、職員によって運び出され、難を逃れたそうです。復元を望む多くの市民の後押しもあり、茨城県は昭和46年(1971)に奥御殿の復元工事に取り掛かり、翌年竣工。火災で損傷した襖絵は、田中画伯が



シンポジウムのパネリスト・コーディネーターの先生方
(写真協力 偕楽園公園センター)

修復を担当し、昭和62年(1987)に完了したそうです。現在、私たちが襖絵を目にできるのは、田中画伯を始め多くの関係者のお陰であることを改めて知りました。

パネルディスカッションでは、好文亭の襖絵を始めとして、「文化財を觀賞したり、学ぶことによる繋がりや、地域の誇りや愛着を生みだすかけがえのないものである」との指摘にも納得。シンポジウムを通して改めて好文亭の歴史的な意義深さに気付かされました。

広報研修委員会 林 和男

活動報告

安岡定子先生の特別講座8月に開催

論語委員会

8月6日、安岡定子先生をお招きして「やさしい論語塾特別講座」を開催しました。安岡先生には平成21年より10年間にわたりご指導をいただき、現在は、年一回特別講座としてご指導いただいています。



論語塾に参加の方々

当日は大人32名、子ども8名がご参加くださいました。講義は安岡先生の後について論語を素読し、孔子が最も大事にしていた「仁=思いやり」の気持ちを、どんなふうに分かるかを取り入れていくかを具体的に分かりやすく教えていただきました。受講生の皆様も熱心に耳を傾けていらっしゃる様子が印象的でした。

コロナ禍で受講生の数を制限せざるを得ない状況が続きますが、今後も論語に親しめる機会を継続させていきたいと考えています。

春のウォーキング 薫風の中楽しく歩きました

魅力向上委員会

令和4年度「偕に楽しむ」春のウォーキングは5月22日(日)、33名の参加をもって実施されました。午前9時半の準備体操の後、吉田神社を出発、鯉沢緑地を通過、途中薬王院でご住職の講話を聴き、常照寺ではこの地に眠っている弘道館の小襖絵などを描いた画人萩谷遷喬について説明を聴きました。今回は弘道館・偕楽園を離れたコースとなりましたが、水戸の自然と歴史に触れ、新しい発見もありました。生憎の小雨模様で歩きにくいところもありましたが、皆さんと一緒に歩いて充実した春のウォーキングとなりました。



春のウォーキング



活動の成果をごらんください

花パートナー活動 今年も綺麗なお花が咲きました

梅雨の時期からの猛暑続きで、7・8月はコロナ感染症予防と熱中症予防のため18回の定期活動を、各自が都合の良い早朝や夕方の自由活動にしました。花たちも水が貰えず脱水症状気味になりましたが、9月まで何とか持ちこたえてくれました。

偕楽園の魅力向上を考える～梅の実活用研修会を開きました

6月18日花パートナー有志による梅の実活用の実習を行いました。講師に鈴木幸枝先生をお招きし、国際交流センターのキッチンをお借りして「のし梅」の作り方を学びました。お馴染み水戸の銘菓の一つです。ペースト状にした梅と砂糖と寒天を丁寧に練り上げ冷やし固めます。べっこう色に仕上がり夏向きのすっきりした美味しいお菓子が出来ました。また、斉昭公が推奨した紫錦梅の作り方を会員の松原さんに教えて頂きました。

本格的な紫禁梅・のし梅ができあがりました



講師の鈴木幸江先生をお招きしてのし梅づくり

お陰様で今年の猛暑は梅の実の効能で乗り切れました。

これからの活動計画

交流委員会

ー紅葉狩りウォーク 偕に楽しむ集いは11月23日(水)に開催!



昨年度、秋晴れの元で開催された紅葉狩りウォーキング

コロナ禍でもあるため募集人数を40名とし、愛する会の会員と一般市民の参加といたしました。普段見る機会の少ない偕楽園の姿を紹介いたします。また組み合わせをゆったりコースと健脚コースに分けました。今年も楽しくウォーキングしましょう。

大名庭園サミットは昨年に引き続き、コロナ禍のために中止となりましたが、来年の開催に向けて11月に岡山で代表者会議が開催されます。

魅力向上委員会

ー花パートナー 偕楽園の風景を楽しみながら花壇づくり!

偕楽園本園の下に位置する、窈窕広場東側に花パートナーが担当する花壇があります。

12月～2月を除いて、毎月2回花壇の手入れや植栽をしています。私たちの活動は、広場を訪れる市民や観光客の皆様喜んでいただけるのはもちろん、おしゃべりを楽しめる交流の場にもなっております。どうぞご参加ください。

ー朝活ヨガとポスチャーウォーキングにぜひご参加ください

朝活ヨガ&ポスチャーウォーキング 当日自由参加歓迎いたします。

日時：毎月第3土曜日 6時30分～7時30分

場所：窈窕広場とその周辺

前半はキレイな姿勢と歩き方のワンポイントレッスンをした後、公園内をウォーキング。後半はヨガで気持ち良く体を動かします。

広報研修委員会

コロナ禍の収束がなかなか見えませんが、偕楽園について会員の知見を高めるための楽習会(講師は会員)、専門家を招いて開く会員研修会を年末から年始にかけて計画をしています。

計画が決まり次第、会のホームページ、SNS等を通じてお知らせをします。

編集後記

早2年半が経過しているコロナ禍は、社会はもちろん私たちの日常生活にも今なお大きな影響を与えています。湊正雄前会長が勇退の辞を述べる際、withコロナの姿勢で活動を止むことなく継続している会員、役員たちの努力に対して感謝のお言葉をいただき、胸が熱くなりました。

偕楽園公園を愛する市民の会 事務局

住所：〒312-0041 ひたちなか市大島3-14-9 TEL：090-8563-5181/FAX：029-272-8303

発行日：令和4年10月 発行：偕楽園公園を愛する市民の会

協力：(株)ロシナンテ ※誌面に関するお問い合わせは事務局まで